

皮肉なことに日本国外に出て初めて日本文化の美しさや日本社会の利便性に気づくことができました。留学したことで得られた視点や考え方など満足している部分が多いものの、留学が必ずしも正解だとは限らないとわかりました。

（アメリカ合衆国）

授業以外に、自主的に参加できる学びの選択肢が無限に用意されています。それをどんどん自分から学ぶことで、交友関係も広がり、教授にも覚えてもらい、有意義に過ごすことができます。

（英国）

人生は一度きり。どんなことでもどんどんチャレンジしてください！最後に後悔することはやらなかったことだけ。やったことは結果がどうであれ必ず有意義な経験になります。

（フランス）

理系専攻で米国留学する場合、日本のトップ校（東大・京大・早慶）とこちらの世界ランキング 30 位以上の大学の授業内容にそこまで差はないので、1、2年生から研究室に入ると留学のアドバンテージが活かせるのではないかと思います。

（アメリカ合衆国）

未知なる領域への一歩はとても怖いものと感じるかもしれないが、新しい冒険を楽しむ気持ちで挑んで欲しい。

（カナダ）

迷っていることがあったら、何事も自分が楽しく挑戦できることが重要だということを覚えていてください。

（オーストラリア）

人と違う選択をするということは、それだけ多くの困難があり、思い通りいかないことも多いということだと思います。それでも海外進学をするということは、それだけ強い思いがあるということだと思います。後悔の無いよう、充実した日々を送ってください。助けを求めることは決して悪いことではないので、大学のリソースをしっかりと使ってください。

（アメリカ合衆国）

留学することに対して不安を感じる方もいるかもしれませんが、私も今となっては不安はありませんが、留学前にはそわそわしていました。しかし、いざ海外に来てみると、慣れない状況で馬鹿力が出るのか、今までの私以上の行動力を出すことができ、自分でもびっくりしています。日本では秘められている自分を信じて、未知の地に飛び込んでみるといいですよ！

（オランダ）

日本にも素晴らしい大学が多くある中で海外の大学を選ぶのは、非常に勇気がいる決断だと思います。不安がつきものだと思いますが、自分を信じて突き進んで下さい。応援しています。

(アメリカ合衆国)

海外は、行ってみたいと思った時がチャンスです。長期間外国に滞在することで日々多角的な刺激を受け、気づかないうちに自分は成長していき、グローバルに活躍できる人間になっていきます。少しでも興味があったら、たくさん検索をして自分に合った留学にチャレンジしてみましょう。最高な留学ができるよう応援しています！

(アメリカ合衆国)

「海外留学生は寝る間もなく忙しい」「ずっと図書館にこもりっきり」「入ってからが難しい」といったイメージをどこかで耳にし、無意識にそれが強迫観念になってしまう事も少なくないと思います。実際私も一年生の時は、自分に休む余裕を与えず、どこか「忙しいから忙しくしている」というより「忙しくしていないと大学生として失格だろうから忙しくしている」部分がありました。周りから見ればマジメに映りますが、自分からしてみれば息が詰まるだけでメリットは少ないですし、そんな気持ちで臨む勉強はちっとも楽しくありません。友達と遊んだり、サークルでの時間を楽しんだり、趣味に打ち込んだりと、学校やプログラムに縛られる事はあっても、「必要以上に」縛られないようにしてみてください。

(アメリカ合衆国)

受験時には想像もしていなかった充実した学生生活を送ることができています。合格や入学することをゴールにせず、入学後の学びや楽しい寮生活や人との関わりもイメージしながら受験期間を乗り越えましょう。

(アメリカ合衆国)

世界が抱える様々な問題に取り組むためには、まずその問題が何かを理解することが必要不可欠です。その根本的理解には世界に出ること、これが最善の方法だと思います。

(アメリカ合衆国)

ぜひ、自分に合った大学を  
世界中から探してください！

(オランダ)

留学前は何かと不安だった私も、いざ留学したらすぐにそんな想いは消えました。考えるよりも、やっぱり行動は大切みたいです。頑張ってください！！

(アメリカ合衆国)

辛いことも多いです。お金だけが解決すれば全てよし、というわけではないので、しっかり考えましょう。

(アメリカ合衆国)

第一志望ではない学校でも、  
たくさん活躍・貢献することはできる。

(アメリカ合衆国)

「憧れ」で終わってしまうのではなく、  
「憧れ」を本気の夢に変える！  
(アメリカ合衆国)

生活環境が変わるので  
相当な覚悟と精神力が必要である。  
(台湾)

Picture yourself a year, a month, a week from today, stepping out of your dorm room and strolling on main mall towards your first class of the year. There is no doubt that this year abroad, going to the university of your dreams, will be the most meaningful year of your life. As a rising second-year student who spent her first year at the university of her dreams thanks to JASSO, I can tell you that the friends you will meet, the clubs you will join, and the connections you will make will become your foundation for the years ahead. So I encourage you! Take that one step forward. Go abroad. It will change your life.

(カナダ)

正直、奨学金を受給し留学をするために超えなければいけない壁は多いです。  
しかし、自分の情熱や夢を追いつづけ、その壁を超えることで、海外進学を実現させることは可能です。可能性を信じ、この素晴らしい支援制度を通してそれぞれの第一志望の進路を実現させてほしいと思います。

(アメリカ合衆国)

留学をする目的は人それぞれですし、どんな経験をして何を考え、そこにどんな価値を見出すかもまた、人それぞれ違うと思います。

私は留学を通して、多様性という大きな言葉で括られることの多いこの”違い”の意義を自分ごととして捉えるようになり、違いへの受容性とそれに対峙する姿勢を身に付けました。また異なる視点の入り混じる環境での学修を通して、自分に合った物事への取り組み方とそれに伴う価値を常に問い続けてきました。

ミクロに見た多様性の促進とは、個々の生への称賛であると思います。

留學生活の中で個を尊重することを学び、常に自身の世界観を顧みるなかで、生きることの豊かさと濃さを実感することになるかもしれません。

(カナダ)

勉強が大変ですが、それ以上に充実した  
学習生活ができると思います。  
(アラブ首長国連邦)

日本にとどまっていたは感じる事ができない  
様々な感情を海外に出ることで感じる事が  
できます。  
それが必ずしも愉快的な感情とは限りませんが  
自分の成長に繋がるはずです。

(英国)

自分が外国人として高等教育を受けることで日本  
人であるとても意識する。また、自分とは懸け  
離れたバックグラウンドを持つ人と会話をする機  
会も多い。その中で自分の固定観念に気づくこと  
ができ、成長につながると感じた。

(アメリカ合衆国)

自分が生まれ育ち、慣れ親しんだ環境から、  
一步踏み出してみると、新たな慣習・文化を  
もつ友人やスタッフ達との交流を通して、  
どんな新しい環境にも物おじせずに入って  
いけるメンタリティが得られると思います。

(オーストラリア)

日本にとどまっていたは感じる事ができない  
様々な感情を海外に出ることで感じる事が  
できます。それが必ずしも愉快的な感情とは限りま  
せんが自分の成長に繋がるはずです。

(英国)

迷っているなら留学してみるべきです。今やり  
たいことにピンときていなくても視野を広げて  
みると物事を違う角度で見られると思うからで  
す。

(アメリカ合衆国)

海外留学をすると学術的な知識が身に  
つくだけでなく、一人で生きていく力が  
すぐつきます。人としてすぐ成長  
すると思います。

(オーストラリア)

海外留学は学問だけでなく面で成長できることを伝え  
たい。自治流して生活するための判断力、キャリアを  
積むための人間関係を育む能力、自分の安全と健康は  
自分で守る知識など、学習能力以上の成長が多く見ら  
れる機会であることを知って欲しい。

(アメリカ合衆国)

こんにちは。

海外留学すると周りの留学生と自身を比べてしまうことがあります。

けれど、海外で過ごす数年は自分にフォーカスしてください。一人一人得意分野も学歴も成長する  
ペースが違います。広い視野を持って自分の成長のためには何が必要か客観的に考えることで焦ら  
ずに充実した学生生活が送れると思います。

Little by Little です！

(アメリカ合衆国)

海外留学は、国内の大学に通うことに比べて金銭的な負担が大きいです。

しかし、それによって得られるユニークな経験も豊富です。

外国語での生活はもちろんですが、大学によってはクラブ活動が盛んで、夏休みなどの間の長期休暇を使って企業で長期インターンシップをすることもできます。

海外留学をするからには、海外留学ならではの経験をたくさん積むことをお勧めします。

(カナダ)

経済的にかのならば是非すべきです。

(カナダ)

留学することでいろいろな国の人との人脈が広がり

自分の視野が広がります。大変なこともあると思いますが、自分の力になっていると確信しています。

(アメリカ合衆国)

海外留学はハードルが高いように思いますが、比較的簡単にできます。ただ、始めてからが、本当に自分が試される部分だと思うので、頑張ってください。

(英国)

海外留学をすると学術的な知識が身につくだけでなく、一人で生きていく力がすごくなります。人としてすごく成長すると思います。

(英国)

国や地域、家庭の収入によって差はあると思いますが、ロンドンでの生活は日本の3倍から5倍かかるので、JASSOの奨学金支援を受けたとしても、留学中の生活費等の仕送りや住居、留学保険、一時帰国などについて事前に親とよく相談して、留学期間中の経済的な計画を立てておくことが重要だと思います。(ちなみに、ロンドンの物価ですが、市内で私が見つけた日本のどら焼きや、焼きそばパンは日本円に換算して一個700円、日本製のインスタントカップ麺も一個500円~600円はします。信じられないと思いますが、これがロンドンの現実です。)

(英国)

モチベーションを

維持できるかが鍵になると思う。

(アメリカ合衆国)

やらない後悔よりもやる後悔！！

(オーストラリア)

皆さんの置かれている環境や時代にもよると思いますが、私の場合は海外大学への正規留学という選択肢が一般的でなく、家族や先生からの反対意見も少なくありませんでした。進学した後よりも進学する前の苦労のほうが正直多くありましたが、それでもこの進路を選んでよかったと思っています。皆さんの中にも留学に対する反対意見に直面する人がいるかもしれませんが、考えられるすべてのデメリットを考慮しつくしそのうえでどんな困難にも立ち向かえるという覚悟があるなら、どれほどの障害があろうとも自分を信じて進み続けてほしいです。

(カナダ)